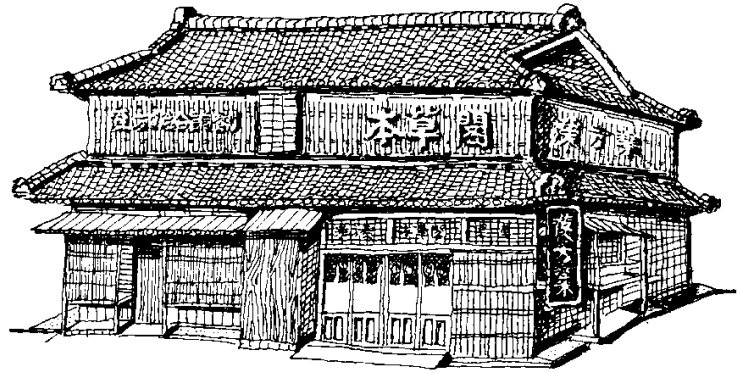


本草閣 かわら版

第81号

平成17年5月16日発行



漢方の本草閣 本店
〒460-0012
名古屋市中区千代田5-21-17
(JR 鶴舞駅西)
JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車
TEL 052-241-3388
FAX 052-241-3443

漢方の本草閣 緑店
〒458-0016
名古屋市緑区上旭1-622
(滝の水公園西)
名鉄バス滝の水口下車 徒歩約5分
TEL 052-899-0221
FAX 052-899-0236

<http://www.honsoukaku.co.jp/>
E-mail: kanpou@honsoukaku.co.jp

<http://www.honsoukaku.co.jp/>
E-mail: midori@honsoukaku.co.jp

民間薬よもやま話

第28回 アロエ ; ユリ科

アロエは葉が多肉質で縁(ふち)には鋭い刺があります。ユリ科の植物でアフリカ大陸とマダガスカルなどが原産地で約300種類以上が知られています。日本には多肉植物として約50種類は観賞用として栽培されていますが、このうち一般にアロエと呼ばれ「医者いらず」として人気のあるのはキダチロカイです。

苦味健胃剤にはアロエを1日3回0.02~0.05gを毎食後に、また常習の便秘症には1日3回0.05~0.3gを食間に服用します。

民間ではキダチアロエの葉汁をそのままか、あるいは葉をすりおろしたり、生のまま輪切りにして水で煮出した液を服用します。

少量ならば消化不良、胃炎などに効き目がありますが、量を増やせば緩下作用があらわれ、便秘によいとされます。

とくに体の弱い人では生のまま服用すると腹痛が生ずることがあります。これは成分のうちアンスロンによるものです。このアンスロンは乾燥したり熟したりすると酸化されてアントラキノン類に変化するので、腹痛になるような人は新鮮なものを服用せず、乾燥した葉を5~10gとり、水0.5ℓを加えて煎じ約半量に煮つめたものを1日3回に分けて食後服用します。

生での利用はとくに量を注意すべきで、個人差もありますが、新鮮なもののジュースならば茶さじ一杯が限界です。妊娠や生理中の婦人は服用を避け

てください。

火傷、傷、虫刺されなどには新鮮な葉を切り開いて、葉肉の部分を貼り付けると効き目があります。

本草閣かわら版」編集部

編集責任者 矢吹 圭宏

本草閣倶楽部（クラブ）に登録しませんか？

目的：本草閣倶楽部を構築し患者さんの
「いつまでも元気で長生き！」をモットーとする。

対象：本草閣に縁のあった方々

開催日：月一度程度

人数：一度に15～30名程度

会費：登録は無料 参加は実費

内容：押し花教室
七夕祭
ほたる見学鑑賞
花火
鮎料理
重陽の節句
釣り堀
薬草観察会
陶芸教室体験
薬草風呂体験
七草粥食事会
歌舞伎・狂言・能鑑賞
桃の節句
ヨモギ餅作成
花見
端午の節句
俳句
漢方勉強会

などの行事内容を考えております、案内をさせていただきますので下記までメールアドレス・ファックス番号・住所・名前等を連絡下さい。

〒460-0012

名古屋市中区千代田 5-21-17

和薬・漢方の本草閣

TEL : 052-241-3388

FAX : 052-241-3443

Mail : kanpou@honsoukaku.co.jp

〔文責 林 譽史朗〕